

職員による自己評価

A 環境面

車いす等は現状の備品で工夫して対応している

B 児童への支援内容

ガイドラインに沿う形で、保護者とも連携していくように努めている。
外部評価について全体の認識が弱い。

C 関係機関との連携

主治医との連携不足等の課題がある。

D 保護者への説明責任・信頼関係

より信頼関係を深めていくため、
きめ細やかな情報共有に努めている。

E 非常対応

マニュアルが用意されている。

保護者による評価

A 環境面

改善が必要だという声はなかった。

B 児童への支援内容

プログラムが曜日固定であり、他曜日のプログラムを受けて見たいという要望が複数寄せられた。

C 事業所からの情報発信

外部交流の項目に改善が見られた。保護者間交流の支援について要不要の意見が分かれた。

D 非常対応

保護者への周知・説明に課題がある。

事業所内での分析

【共通点】

- ・積極的な外部交流がある
- ・自己評価の公表、外部評価がなされていない

【相違点】

- ・プログラムが固定されている曜日のみの利用者から改善の声が上がった
- ・非常対応について説明が十分でない
- ・主治医との連携についての認識に相違が見られた

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・利用者のニーズ・課題抽出、支援計画の策定、実施、振り返り、さらなる課題抽出を体系的に行うよう努めている。
- ・積極的な外部交流を行っている。

事業所の改善点

- ・契約していない曜日のプログラムを受けられない
- ・主治医との連携がとれていない
- ・非常対応について説明が十分でない

事業所の改善への取り組み

- ・プログラムの内容を精査する
- ・主治医との連携について保護者に確認する
- ・非常対応についての説明を詳細に行う

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

普段のコミュニケーションでは中々言い出しづらかったのかなと思うご意見も頂戴し、とても意義のあるものになりました。また、同様に多くの感謝のお言葉を頂き、今後もますます意欲を持って支援に取り組んでいこうと感じました。これからも、よこはまことり園をよろしくお願い致します、という思いです。

事業所名 よこはまことり園
担当者 中川